

OPU Students 海外留学レポート

Study Abroad Report from the OPU students



プロフィール (Profile)

氏名 (Name) 木下結貴
所属 (School) 生命環境科学域応用生命科学類
学年 (Grade) 2年
留学先 (Name of overseas institution)
マラヤ大学
留学期間 (study abroad period)
2020/8/24~2020/9/11
記入日 (Date) 2020/9/12

留学レポート Study Abroad Report

●オンライン留学について

私は元々2020年の夏にこのプログラムに参加しようとしており、the covid-19の影響で諦めていましたが、学生ポータルを見てオンラインでの開催を知り、迷いなく申し込みました。オンラインでは意味がないのではないかと不安になることもありましたが、このプログラム終了後その不安はほぼなくなりました。なぜなら、すべて英語での授業は自分の英語力向上のきっかけになったからです。また、このプログラムにはバディ制度があり、これにより現地の学生たちとコミュニケーションがとりやすく、SNSを通じて仲良くなることができました。オンラインでの留学は、現地に行くことはできませんが、英語のスキルの向上のきっかけになったり、現地の友達を作ったり、その国についていろいろなことを知れるととてもいい機会になると思います。

●授業について

授業は、月曜から金曜の平日にあり、1コマ目が9時半から11時半、1時間の休憩をはさんで2コマ目が12時半から14時半までありました。授業は2時間ですが1時間で5分くらいの休憩をはさむことが多かったです。Google Meetで行われました。プログラムが始まる前に、リーディングのプレースメントテストがありました。授業内容は、Writing and Composition、Reading and Vocabulary、Speaking and Pronunciation、Malaysian Studies、Grammar Usageの4つがありました。Writing and Compositionは、資料に関する書類や物語エッセイなど様々なジャンルの書類の書き方について学びました。Reading and Vocabularyは、文化や時事問題に関する資料を読んだり、同義語の細かい違いなどの語彙に関することを学びました。Speaking and Pronunciationは、具体的な場面を設定したスピーチをしたり、ディスカッションやディベートをしました。Malaysian Studiesは、マレーシアの歴史や文化などを学びました。Grammar Usageは、主に時制や態に関する文法を学びました。授業では、合間にスモールトークがあり会話をする機会が多くありました。そこで、お互いの事やお互いの国のことについて知ることができました。また、授業でわからないことがあったときや、よく聞き取れなかったときは、バディや先生に気軽に言うことができました。授業では、課題がありました。それは一人でやる課題だけでなく、グループで行うものもありました。それぞれ最後の授業では、確認テストがありました。

●課外活動について

授業時間外では、週に2、3回くらいAfternoon Activitiesが16時から17時半か18時くらいまでありました。Zoomで行われました。活動内容は、映画をみたり、カラオケやダンスをしたり、ゲームをしました。ゲームはマレーシアに関するクイズや、お互いのことを知ることができるようなゲームでした。このActivitiesによりかなり仲良くなることができました。現地の学生がフレンドリーに接してくれて人見知りな私でもとても楽しむことができました。

他には、バディとSNSで話したり、電話したりしました。自分が普段友達とLINEをするのと同じように、他愛ない会話をしました。具体的には、私のバディはK-popが好きだったのでその話について盛り上がったり、一緒に歌ったりしました。本当に楽しかったです。これによって、バディとはとても仲良くなることができました。

●今後について

このプログラムでは英語に触れる機会が多く、自分の英語力向上のモチベーションが上がりました。バディや先生と話していても、「あれ、これなんて言うんだっけ。」「日本語だったらもっと言いたいこと話せるのに。」と思う機会が多く自分の力のなさを実感しました。だからこそ、もっと英語を勉強したいと思いました。プログラムが終わって英語に触れる機会が減ってしまうと思いますが、そこはこのモチベーションを保って

